

小・中学校における採点業務等効率化システムサービス提供業務
受託候補者特定基準

評価項目	評価基準	配点
1 実施方針等		10
① 基本方針	基本方針が仕様書に整合（働き方改革に係る貢献内容、児童生徒の個別最適化された学習の推進に資するものへの対応）しており、具体的で有効なものであるか。	10
2 採点業務等効率化システム		70
① 操作性等 （基本仕様書関連）	採点システムの操作性や運用面がどのような面で具体的（操作メニュー、ボタン配置や表示上の工夫、操作性、視認性などシステム開発の意図や目的などとともにその効果、利用者登録の方法、人事異動時対応など）に優れているか。	20
② 採点時間短縮の工夫 （基本仕様書関連）	採点時間を短縮することが可能となる機能（マークシート方式・記述式への対応、画像補正機能、設問等罫線認識機能、模範解答設定機能、自動採点機能、観点別集計など、システム操作支援機能、複数人操作機能、校務支援システムやクラウドサービス連携機能など）について工夫があるか。	30
③ 採点業務以外へのシステムの利用提案	採点システムを活用した他の業務への活用方法（業務効率化に係る活用提案、特別支援学校等での活用方法など）について具体的かつ有効なものであるか。	5
④ 児童生徒の個別最適化学習	採点システムと連動した学習支援コンテンツを提供するなどの児童生徒の個別最適化への取組（E d T e c hへの参画を考慮すれば、どのような検証を行う計画か、その具体的な内容と、学校側の負担内容の具体性）を行うかどうか。	10
⑤ 効果測定	システム利用の効果測定が具体的かつ有効的な内容となっているか。	5
3 実施体制等		20
① 実施体制の妥当性等 （人的面）	サポートデスクや研修等の支援体制や対応（ISO取得、技術者の資格取得情報、業務体制、サポートデスク営業時間、研修実施計画、社内教育体制、障害発生時計画など）は、迅速・柔軟・適切に行えることが確実か。	10
② 実施体制の妥当性等 （物理・設定面）	クラウドサービス利用について、サーバの設定・運用方法やセキュリティ対策（仕様書内に記載した項目及びその他の項目として、サーバ環境維持方法、障害発生検知方法、ログ保管方法や期間など）が具体的かつ適切なものであるか。	5
③ 実績	他の自治体や私立学校等での実績があるか。（国の委託事業や実証事業などを行った場合はその主催者、事業内容、参加団体などについて記述してください。）	5
合 計		100